マルシェをつくろうこどもまち冒険2026
作戦会議報告！！

日時：2026年11月1日（日）9：15－11：45
場所：ONE　FOR　ALL横浜地域交流センタースタジオ（戸塚区戸塚町）
参加人数：19名（小学1年生～6年生）

マルシェをつくろう！こどもまち冒険2026の第一日目、作戦会議を開催しました。
こまちカフェから徒歩すぐの会場、ワンフォ―オール横浜地域交流センターに19名の子どもたちが元気に集まりました。
はじまりの会から、まずは「もうじゅう狩りゲーム」のレクを開催。ゲームのように自己紹介しあい、進めるうちにはじめましての子どもたちもだんだん笑顔がみえてきました。





それから、「お店の人のおはなし」としてこまちカフェスタッフ足立より、衛生管理についてやメニューについてお客さんのこころもからだも喜ぶ食べ物を考えご提供していること等をお伝えしました。
子どもたちは真剣な表情で聞き入っていました。

そのあとはいよいよ作戦会議！ドリンク開発チーム、おにぎり開発チーム、マルシェかざりつけチームのどれにするかをこども達が選び後半にすすみました。
作戦会議で開発したものは11月21日のマルシェで販売とお披露目をしますので楽しみにお待ちください！！
以下それぞれのチームごとに様子をお伝えします。

○ドリンクチーム

今回の作戦会議では、マルシェで販売するオリジナルドリンクの開発に挑戦しました。子どもたちがアイデアを出し合い、実際にドリンクを作ってみたり、材料費や販売価格を考えたりしながら、少しずつメニューを形にしていきました。

① みんなの好きな飲み物は？

まずは、一人ひとりの好きな飲み物を聞くことからスタート。カルピス、ミルクティー、ココア、メロンソーダ等、さまざまな飲み物が挙がりました。

「シュワシュワするから」「おいしいから」等、好きな理由も聞いていきます。オリジナルメニューを考えるうえでは、どんな飲み物が好きかだけでなく、なぜ好きなのかも大切なヒントになります。

今回は、前回参加した子どもたちがそのことを意識して質問してくれていて、これまでの経験が次の活動につながっていることを感じました。

② ためしにドリンクを作ってみよう！

炭酸、牛乳、コーヒー、氷、りんごゼリー、みかんシロップ、りんごジュース等を使って、それぞれ自由にドリンク作りに挑戦！

「味が薄いからもう少し足してみよう」「牛乳を入れたほうがおいしい！」等、実際に作って飲んでみることで、さまざまな発見があったようです。お互いの感想も伝え合いながら、味の組み合わせを試していました。





③ オリジナルドリンクを考えてみよう！

①②での経験を踏まえ、いよいよメニュー開発へ。

今回は7人のこども達が参加してくれました。積極的に意見を出す子もいれば、じっくり話を聞く子もいたため、まずは10分間、3つのグループに分かれて考えることにしました。

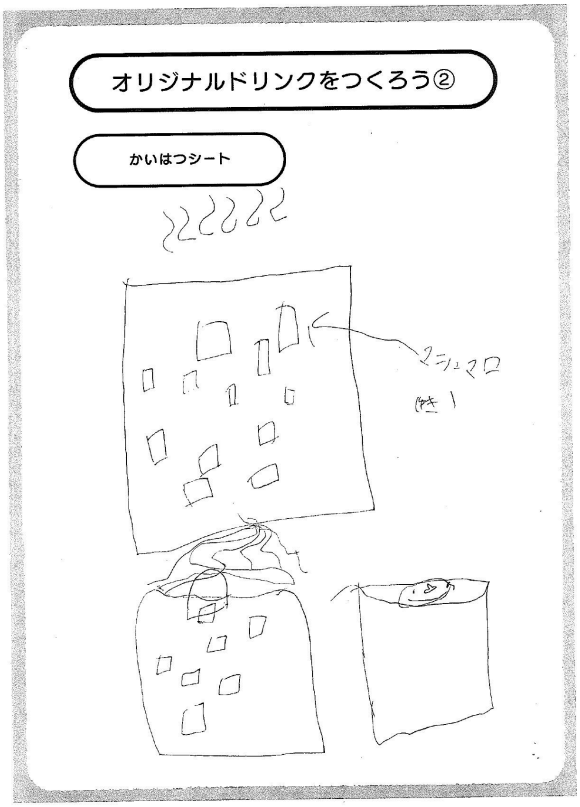
「ドリンクかいはつのポイント」として紹介したのは、次の3つ。

- 季節（春・夏・秋・冬）を意識する
- 見た目がきれいで、わくわくするものにする
- 値段と材料のことも考える

ホットとコールド、どちらも作りたいという意見で一致したため、両方で楽しめるドリンクを考えることに。



「冬」や「雪」をテーマにしたいという意見が出る一方で、昨年参加した子からは「昨年のドリンクもきれいだった！寒い季節だからこそ、春や夏をイメージしたドリンクにしたい」というアイデアも。



「マシュマロで雪を表現する」「マシュマロには顔をつけたい」など、子どもたちらしい自由な発想が次々と飛び出しました。

最終的に、3つのグループすべてで「ココアを作りたい！」という意見が一致。甘いものが苦手な人もいるかもしれないという意見から、トッピングは自由に選べるようにし、別料金にすることも子どもたち自身で決めました。



トッピングの種類を絞る必要があったため、
最後は多数決に。好きなトッピングに2つずつ手を挙げてもらいました。

自分の意見をしっかり出せるかな…と少し心配もありましたが、ほかの人の意見に流されることなく、小学校低学年のお子さんも、自分が選んだものにしっかり手を挙げていました。

④ 値段を決めよう！

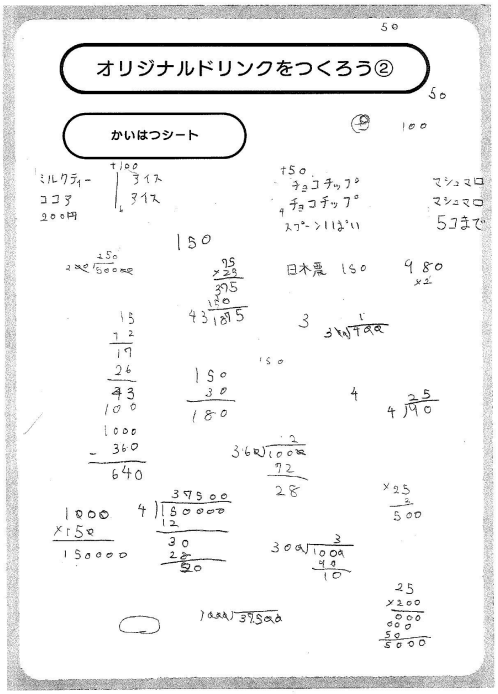
メニューが決まったら、次は値段決めです。

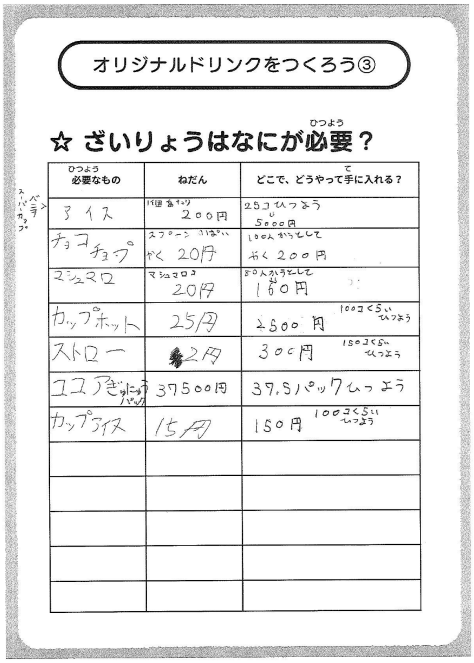
ワークシートを使い、必要な材料や道具、その値段、どこでどのように手に入れるかを整理していきました。

カップやストロー、氷など、ドリンクを提供するために必要なものにも一つひとつ値段があることを確認。材料費だけでなく、トッピングの量や販売価格についても考えました。

「自分だったらいくらで買う？」「お客さんはいくらなら買ってくれるかな？」という視点も取り入れながら、実際にお店を運営することをイメージして話し合いました。

普段は買う側として楽しんでいるドリンクも、作って販売する側になると、考えることがたくさんあります。子どもたちにとっても、新しい発見のある時間になったのではないでしょうか。





⑤ 販売目標を決めよう！

最後に、マルシェでどのくらい売りたいか、販売目標についても話し合いました。

昨年の販売数は100杯。「今年は昨年の100杯を超えたい！」という声が上がりました。

最初は販売数で話していましたが、次第に「5万円」という売上金額が出てきました。「5万円って何杯分かな？」と、ドリンク1杯200円で計算してみたところ、250杯売る必要があることが分かり、「売れるかな……？」とみんなで考えます。話し合いの結果、今年の販売目標は150杯に決定しました。

目標を立てるだけでなく、実際に何杯売れば達成できるのか、みんなで計算しながら考える姿も見られました。

子どもたちの持つ力に、今年も感動！

それぞれが好きなことや考えをたくさん出してくれて、とても素晴らしい時間になりました。一方で、たくさんの意見が出るなか、果たして最後まで決められるだろうか……という不安もありました。

でも、そんな心配をよそに、子どもたちはお互いの意見を聞きながら、少しずつ話をまとめていきました。

昨年に続き、子どもたちが持つ力に改めて感動！ボランティアさんからも「逆に元気をもらいました！」という声が聞かれました。

子どもたちの「好き」や「やってみたい」が、少しずつマルシェという形になっていきます。本番ではどんなドリンクが並ぶのか、どうぞ楽しみにしていてください！

○おにぎりチーム

作戦会議では、マルシェで販売するおにぎりの開発に挑戦しました。
いろいろな具材を試し、アイデアを出し合いながら2種類のおにぎりが誕生しました。

①どんなおにぎりを作りたい？

おにぎりチームには7人の子どもたちが参加し、ふたりペア（1組はボランティアさんが入る）になってオリジナルおにぎりの開発に挑戦しました。
まずはお客さんが「食べてみたい！」と思えるようなおにぎりとは、どんな味なのか、どんな見た目なのか、どんなところが魅力的なのかと、イメージを膨らませていきました。
お客さんに買いたいと思ってもらうためには、自分が好きな味というだけではなく、見た目の工夫もとても大切という視点をもって、話し合いをスタートしました。



②具材を味見してみよう



今回用意した具材は以下の12種類。
白ごま、えだまめ、コーン、さつまいも、かつおぶし、あおのり、さけ、きのこ（醤油いため）しお、塩こんぶ、ゆかり、わかめ素材そのものの味を楽しむもの、風味が豊かなもの、しっかり味がついているものを順番に味見をしていきました。
「これとこれは合いそう！」「こんな組み合わせもおもしろそう」とアイデアを出し合いながら、具材同士の相性を確かめていきました

③ごはんと合わせて試作してみよう



いよいよ、ごはんと具材をあわせて試作を行いました。「これはもっと入れたほうが美味しそう」「さけのピンクが入ると色がきれいだね」とペアで話し合いながら進める子や、自分イチオシの組み合わせを見つけてお友達におすすめする子など、大盛り上がりとなりました。

その後、ペアで話し合って、候補のおにぎりを1つに絞り込み、おにぎりの名前と具材の分量、おすすめのポイントをメモしてまとめていきました。

④みんなで試食と投票をしてみよう

続いて、他のチームが作ったおにぎりを全員で試食しました。お互いに「いいなと思ったところ」をメモして、点数をつけていきました。
そして、いよいよ運命の投票タイムです。全4種類のおにぎりの中から、ひとり2票ずつ投票を行いました。すると驚いたことに、全7票すべてが2つのおにぎりに集中する結果となりました。



しかし、ここでひとつの問題が発生します。なんと、選ばれた2つの案のどちらにも「さけ」が入っていたのです。「さけが苦手な人がいたら、買えるおにぎりがなくなってしまうかも…」という子どもたちの気づきから、急遽さけを除いたレシピで再度試作を行うことになりました。

工夫を重ねた結果、「さけが入っていなくても美味しい！」と納得のいくレシピが完成。無事に、マルシェで販売する2種類の商品が決定しました。

【完成した**2**つの商品】

- 『えだまめとこんぶのおにぎり』
- 『秋の具材ごろごろおにぎり』

子どもたちのこだわりと工夫がたっぷり詰まったおにぎりです。当日はぜひ食べに来てください！

・子どもたちの頼もしさを実感

この作戦会議では、子どもたちが自分たちで話し合い、アイデアを形にしていく姿に、頼もしさを感じる時間となりました。
マルシェ本番も、お越しいただいたお客さんに楽しんでもらえるよう、みんなで素敵な場所にしていきたいと思います！

○かざりつけチーム

作戦会議では、マルシェ会場を彩る空間のデザインと飾りつけの計画に取り組みました。5人の子どもたちが集まり、実際に会場となるお店や道を見学しながら、みんなをワクワクさせる装飾のアイデアを出し合いました。

① 空間デザインと施工ってなんだろう？

まずは、スタジオニブロールの安食さんから「空間のデザインと施工」について教えていただきました。マルシェの装飾チームが担当するのは、切り絵、メイン看板、風船、ガーランド、エリアサイン（各コーナーの看板）の作成と設置です。今回使う装飾の素材は、戸塚の子どもたちが描いた「線」が模様になった特別な紙。この紙を使いながら、会場全体をどんな風に飾っていくかを子どもたちが考えていきました。



② 現地を確認して設置場所を決めよう！

まずは実際に、マルシェの会場となる現地を確認しに行きました。「どこに飾ったらお客さんが見やすいかな？」「どんな看板があったら分かりやすいかな？」と、実際に現場に立つことで具体的にイメージを膨らませていきました。





③ お店に合った切り絵を考えよう！

また、会場となるお店に足を運び、「このお店にはどんな切り絵があったら雰囲気に合うかな？」と、お店の雰囲気や出店するものを確認しながら、当日を想像して飾る切り絵のデザインを考えていきました。

④ メイン看板と切り絵作りに挑戦！

現地を確認したあとは、マルシェの顔となるメイン看板作りに挑戦しました！ 大きな「こどもまち冒険マルシェ」の文字の周りに、線模様の紙を使い、のりを使って丁寧に装飾していきました。みんなで協力しながら、素敵な看板を完成させることができました。

また、同時にそれぞれのお店に飾る切り絵作りにも挑戦！ もんじゃ横丁さん、海遊さん、小川庵さん、こまちカフェ一階の珈琲スタンドなど、それぞれ素敵な切り絵が完成しました。時間内に作りきれなかった切り絵は、「ドリンクチーム」や「おにぎりチーム」の仲間にも助けてもらいながら進め、次回本番までに仕上げてくる宿題にしました。

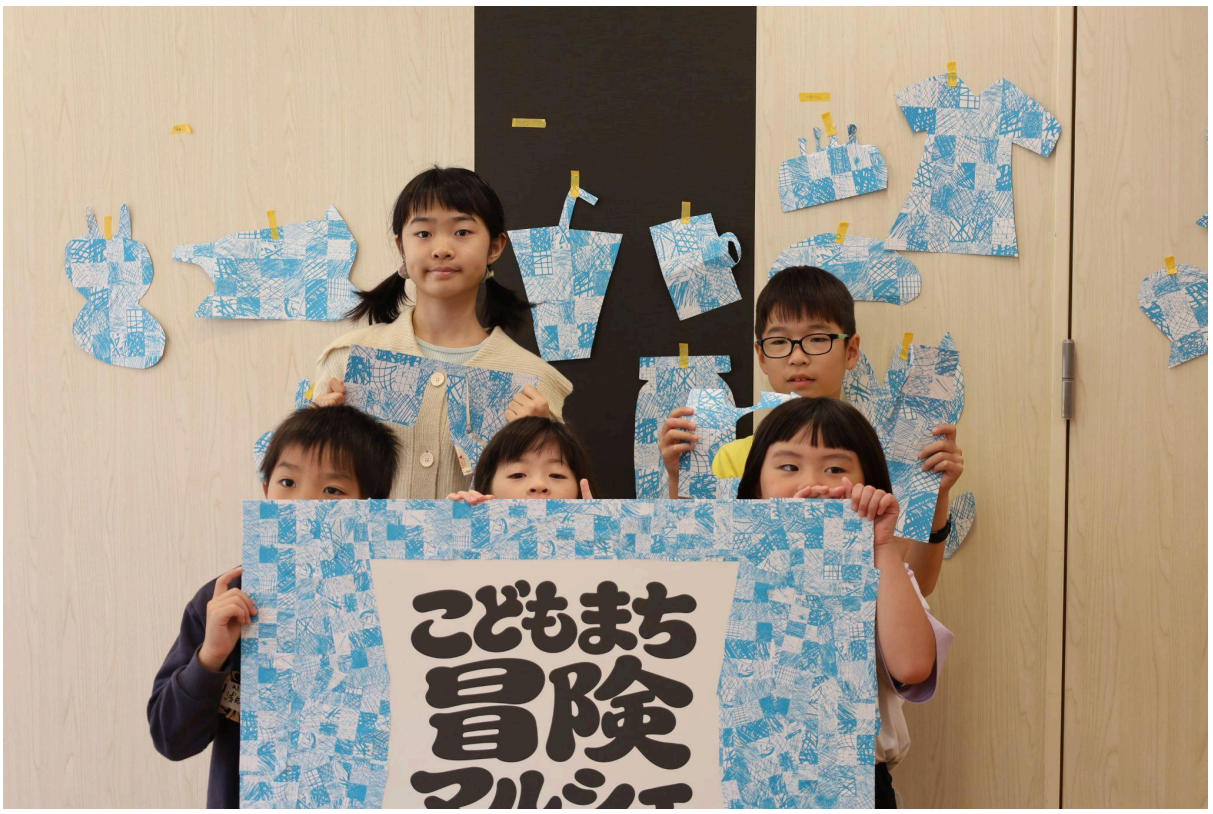




子どもたちの「空間をつくる力」に感動！

現地を見てアイデアを出し合い、大きな看板を形にしていく子どもたちの力にとても感動しました。自分たちが作った装飾で会場を彩る楽しさを実感しながら、夢中になって取り組む姿が印象的でした。当日は、子どもたちがデザインした切り絵や看板、風船やガーランドが会場全体を華やかに盛り上げます！

ぜひ細かな装飾にも注目して楽しんでみてくださいね。


こどもまち
冒険


こどもまち
冒険
マルシェ

最後に・・

今回、昨年に続いて参加してくださったボランティアさんから、こんなお話がありました。

「子どものやりたい気持ちを尊重すること、やりたくないことは無理にやらせないこと。最初は『やらない』と言っていた子も、興味を持って戻ってきたときには、自然と輪の中に入れる。そういうところが、とても良い場所だと思います」

子どもたち一人ひとりの気持ちやペースを大切にし、参加するもしないも自分で選べる。そして、やってみたいと思ったときには、いつでも仲間の輪に戻ることができる。

そんな、子どもたちが伸び伸びと過ごせる場になっているのは、関わってくださるボランティアの皆さんが、この場のあり方を理解し、温かく見守ってくださっているからこそだと感じます。

そして、こどもまち冒険を通じて子どもたちの挑戦や成長を一緒に喜び、支えてくださる皆様、ご協力くださったボランティアの皆様、クラウドファンディングやご協賛で支えてくださった皆様、当日参加を申し込んでくれた子どもたちと、温かく見守ってくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。

心から感謝申し上げます。

認定NPO法人こまちぷらす

こどもまち冒険スタッフ一同